

江戸川区消防団運営委員会議事録 要約

開催日時	平成31年3月22日（金曜日） 開会：14時00分 ～ 閉会：14時50分
開催場所	災害対策本部室
諮問事項	「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」
出席者 (19名)	委員長 多田正見 委員 宇田川聡史（都議会議員） 上野和彦（都議会議員） 河野ゆりえ（都議会議員） 小野瀬二郎（江戸川防火防災協会会長） 西野 博（葛西防火防災協会会長） 松下幸博（小岩防火防災協会会長） 岩田将和（区議会議員） 中山隆仁（区議会議員） 大橋美枝子（区議会議員） 中里省三（区議会議員） 中道 貴（区議会議員） 早川和江（区議会議員） 吉田由文（江戸川消防署長） 茂呂浩光（葛西消防署長） 西村俊成（小岩消防署長） 渡邊辰雄（江戸川消防団長） 秋山隆繁（葛西消防団長） 村瀬光一（小岩消防団長）
欠席者	なし
傍聴者	0名
配付資料	1 審議資料（別紙のとおり）
次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 新委員の紹介 4 報 告 前回の諮問に対する答申結果の概要説明 5 議事 (1) 諮問について 「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」 6 その他 (1) 江戸川区内消防団の現況 (2) 江戸川区内災害の状況 7 閉会

審 議 内 容

4 報 告

前回の諮問に対する答申結果の概要説明
事務局 (報告資料の説明)

委 員 英会話や手話の講習等、消防団の負担が増えるのではないかと、どのように行っていますか。
また、Eラーニングのシステムについて教えてください。

事務局 二点回答します。
①講習については全消防団員ではなく、各団から1, 2名希望者を募って受講しています。
②Eラーニングについては各個人にパスワードを配付し、パソコン等を持っていれば、いつでも受講できるものです。

委 員 ①については代表者ということですか。また、救急車を呼んだ際に手話通訳を配置する手はずが整っているが、連携はありますか。

事務局 希望者ですので、必ずしも代表者というわけではありません。救急の方は手話講習などが始まったばかりで、そのような話はないのが実情です。

5 議 事

(1) 諮問について

「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」

事務局 (審議資料の説明)

委 員 機能別団員とはどのような種類のものがありますか。
大規模災害とはどのようなものを想定していますか。

事務局 「資料4-3、現状」の任務の中で分類していきます。
どれが大規模災害になるかということは少し検討が進んでいませんが、基本的には全ての災害に対応するという事で検討していくことになると思います。

委 員 機能別団員が消火活動や警戒活動などに特化することで消防団員の負担軽減に結びつきますか。

事務局 災害活動は現在も機能別団員になっていないですが、災害活動まで全て出るとは入団の妨げになるので、機能別にする事でその分野で活躍してくれる団員が増えればという考えです。

委員	区職員が消防団員を兼務することはできますか。また学生団員の活動を教えてください。
事務局	兼務は認められています。区職員でも消防団員を兼務してる方もいます。 葛西消防団では学生団員は管内に居住する専門学校生が入団しており、積極的に夜間や土日の活動に参加しています。
委員	消防団への入団促進のため、機能別団員の導入を促進しているということですか。
事務局	学生の方には全部の団活動への参加希望で入団していただいているがそれが難しければ、応急救護など部分的な活動をしていただきたいです。
委員	機能別団員は即戦力で消防団OBが現実的であるが、外国人を対象にすると法的に問題ありませんか。
事務局	現在の入団基準は日本国籍に限られています。
委員	消防団員が消防署員と同じ位置づけになると危険度も高くなり消防団員確保が難しいではありませんか。
事務局	危険性は低くないが物資輸送のバイク隊など必ずしも危険度の高い最前線に立つとは限りません。
	(2) 平成29年中の火災・救助等災害状況
事務局	(江戸川区消防団の現況・平成29年中火災・救助等災害状況の説明)
委員長	先日、消防団始式が立派に行われ、今年も1年間よろしくお祈いします。また、消防署のご指導につきましても、どうぞよろしくお祈いいたします。